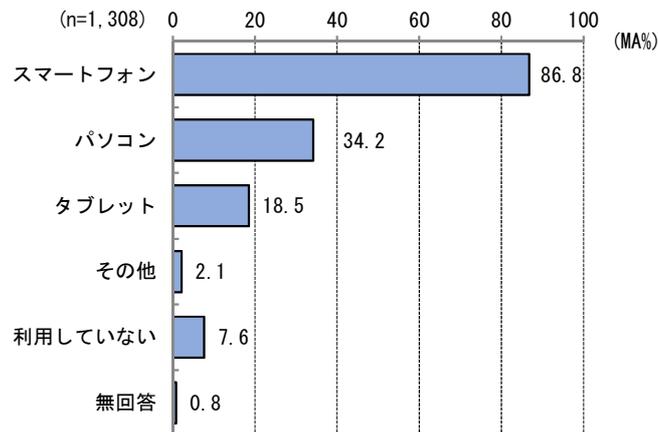


2. 情報通信機器の利用について

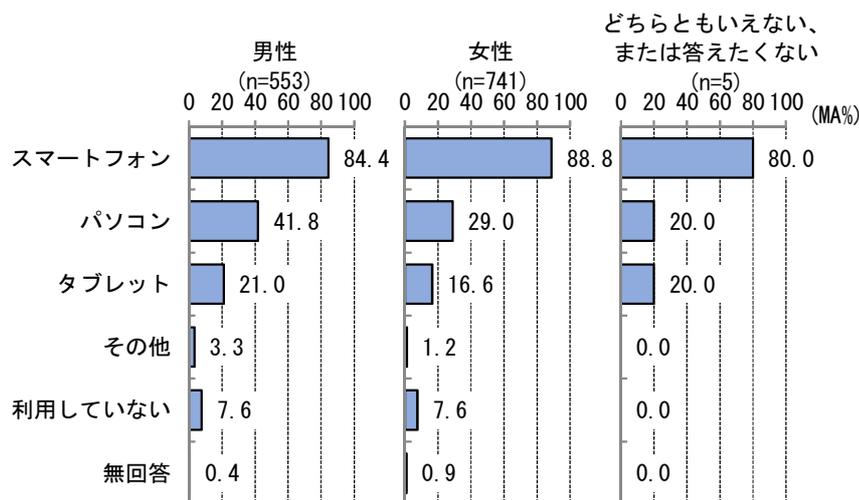
問 14 普段、あなたが利用している情報通信機器は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

図 2-1 普段利用している情報通信機器



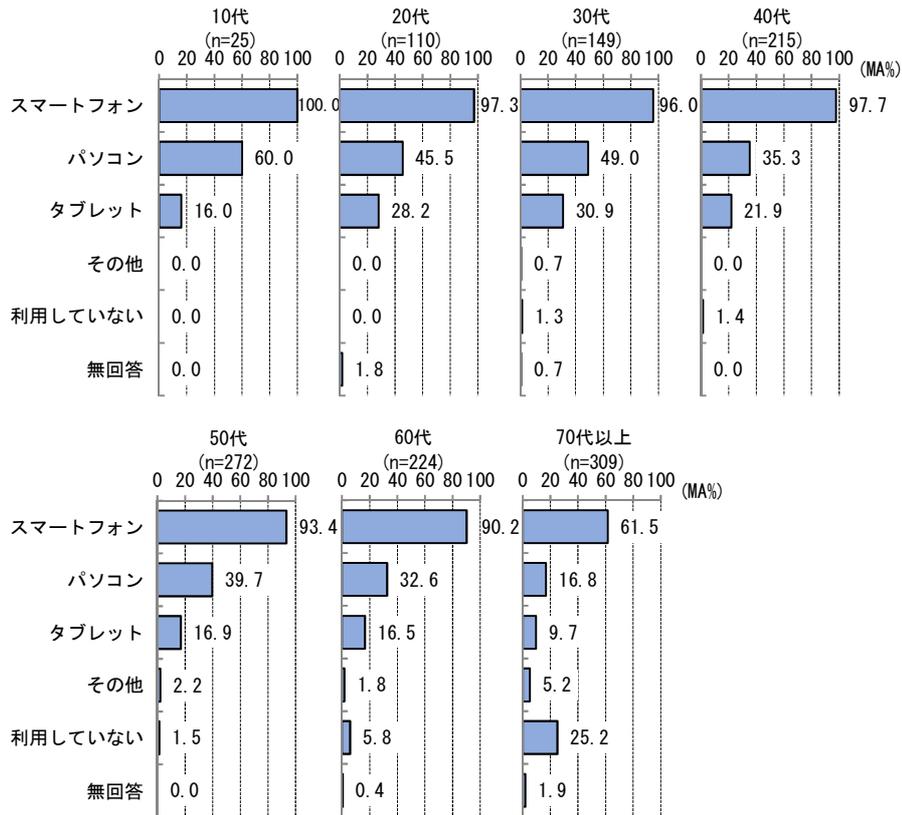
普段利用している情報通信機器をたずねた。「スマートフォン」が86.8%と最も高く、次いで「パソコン」が34.2%、「タブレット」が18.5%となっている。(図 2-1)

図 2-2 性別 普段利用している情報通信機器



性別にみると、男女ともに「スマートフォン」が最も高い。「パソコン」は男性が41.8%で、女性の29.0%を12.8ポイント上回っている。(図 2-2)

図 2-3 年代別 普段利用している情報通信機器

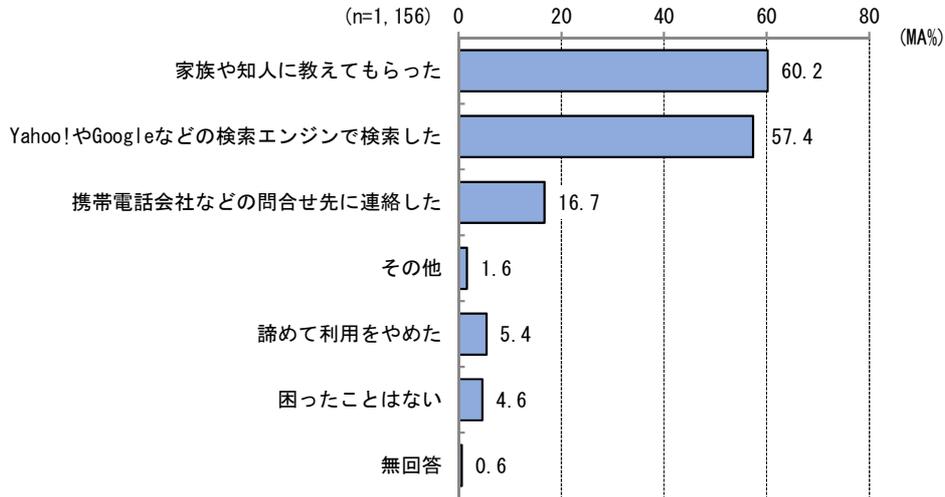


年代別にみると、「利用していない」は10～50代では1.5%以内の一方、60代は5.8%、70代以上は25.2%と高くなっている。また、「スマートフォン」は10～60代では9割以上と高くなっており、70代以上も61.5%と半数を占めている。「タブレット」は、20～30代で3割前後、10代と40～60代では2割前後となっている。(図 2-3)

※問 14 で、「1. スマートフォン」「2. タブレット」と回答された方におたずねします。

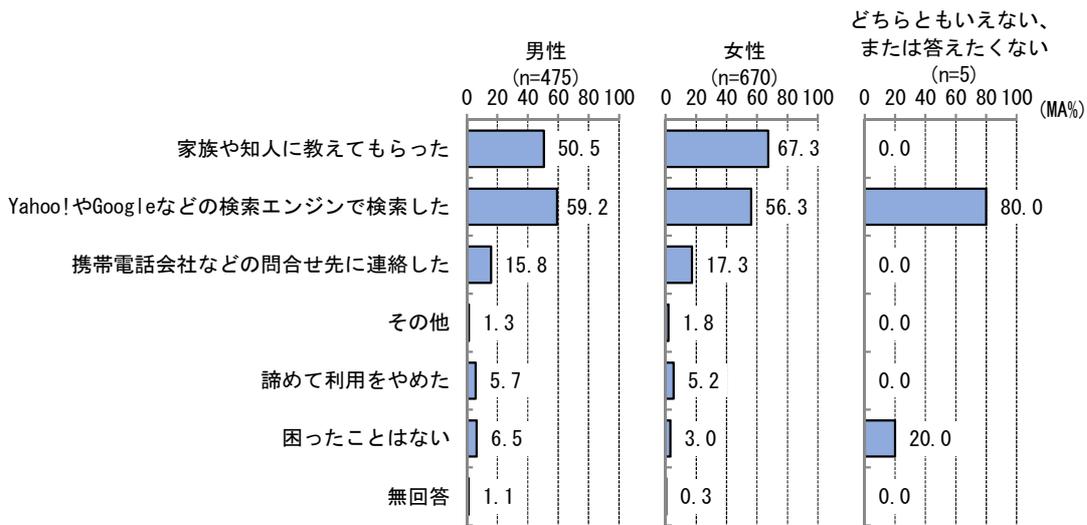
問 14-1 機器の使い方やアプリの利用方法などがわからなくて困ったとき、どのように解決されましたか。(〇はいくつでも)

図 2-4 利用の仕方がわからないときの解決方法



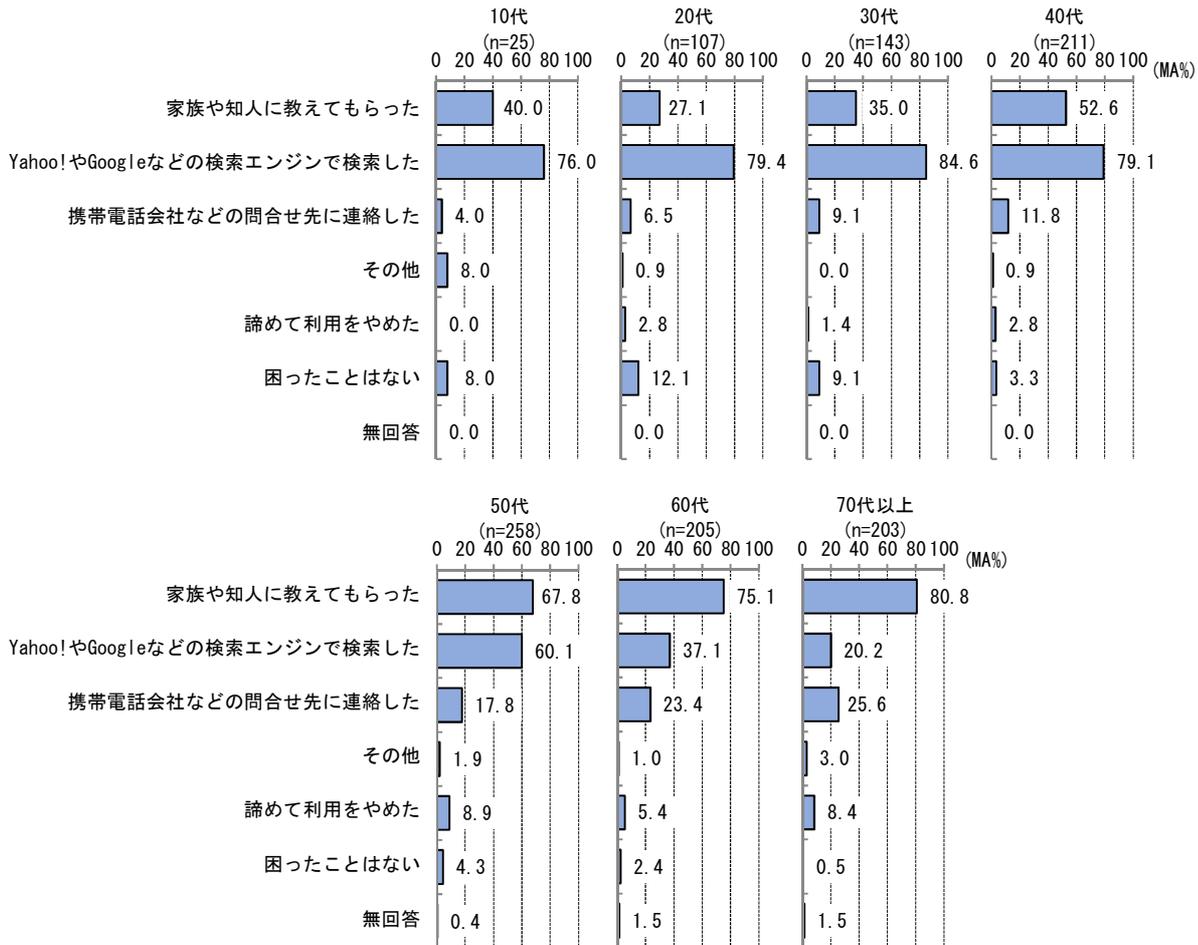
問 14 で「スマートフォン」「タブレット」と回答した方を対象に、利用の仕方がわからないときの解決方法をたずねた。「家族や知人に教えてもらった」と「Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンで検索した」が6割前後と他に比べ高い。また、「諦めて利用をやめた」は5.4%となっている。(図 2-4)

図 2-5 性別 利用の仕方がわからないときの解決方法



性別にみると、男性は「Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンで検索した」が59.2%と最も高くなっているが、女性は「家族や知人に教えてもらった」が67.3%と最も高い。(図 2-5)

図 2-6 年代別 利用の仕方がわからないときの解決方法



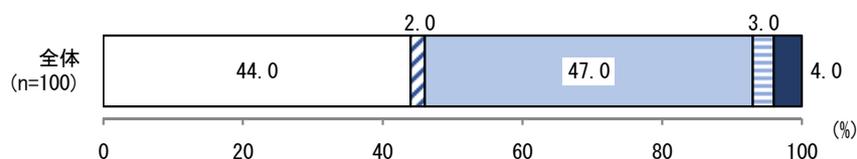
年代別にみると、10～40代は「Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンで検索した」が最も高いが、50～70代以上では「家族や知人に教えてもらった」が最も高くなっている。また、「携帯電話会社などの問合せ先に連絡した」は年代が上がるほど高くなる傾向にある。(図 2-6)

※問 14 で、「5. 利用していない」と回答された方におたずねします。

問 14-2 情報通信機器を利用したいと思いませんか。(○はひとつ)

図 2-7 情報通信機器を利用したいか

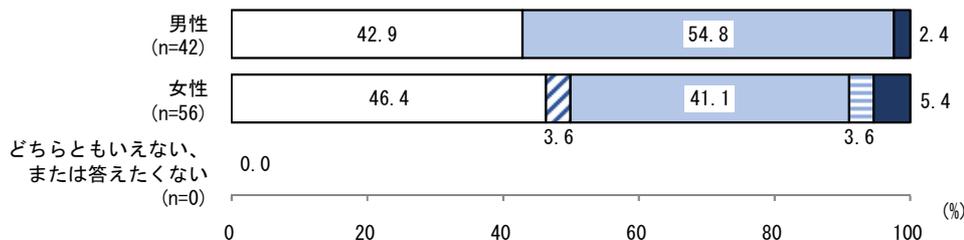
- 利用したいが、使いこなせる自信がない
- ▨ 利用したいが、そのほかの理由がある
- 必要性を感じていないので、利用したいと思わない
- ▨ その他
- 無回答



問 14 で「利用していない」と回答した方を対象に、情報通信機器を利用したいかどうかをたずねた。「利用したいが、使いこなせる自信がない」と「利用したいが、そのほかの理由がある」を合わせた『利用したい』は 46.0%となっている。一方、「必要性を感じていないので、利用したいと思わない」は 47.0%となっており、『利用したい』より 1.0 ポイント高い。(図 2-7)

図 2-8 性別 情報通信機器を利用したいか

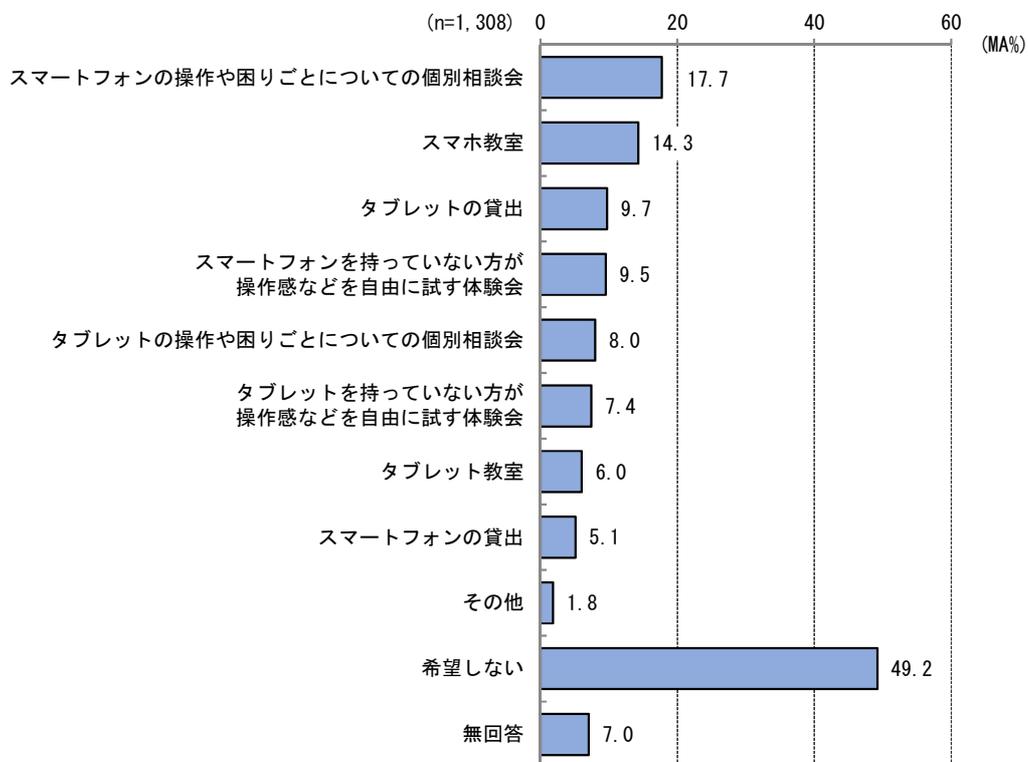
- 利用したいが、使いこなせる自信がない
- ▨ 利用したいが、そのほかの理由がある
- 必要性を感じていないので、利用したいと思わない
- ▨ その他
- 無回答



性別にみると、「利用したいが、使いこなせる自信がない」と「利用したいが、そのほかの理由がある」を合わせた『利用したい』は男性で 42.9%と、女性の 50.0%を 7.1 ポイント下回っている。また、「必要性を感じていないので、利用したいと思わない」は男性で 54.8%と、女性の 41.1%を 13.7 ポイント上回っている。(図 2-8)

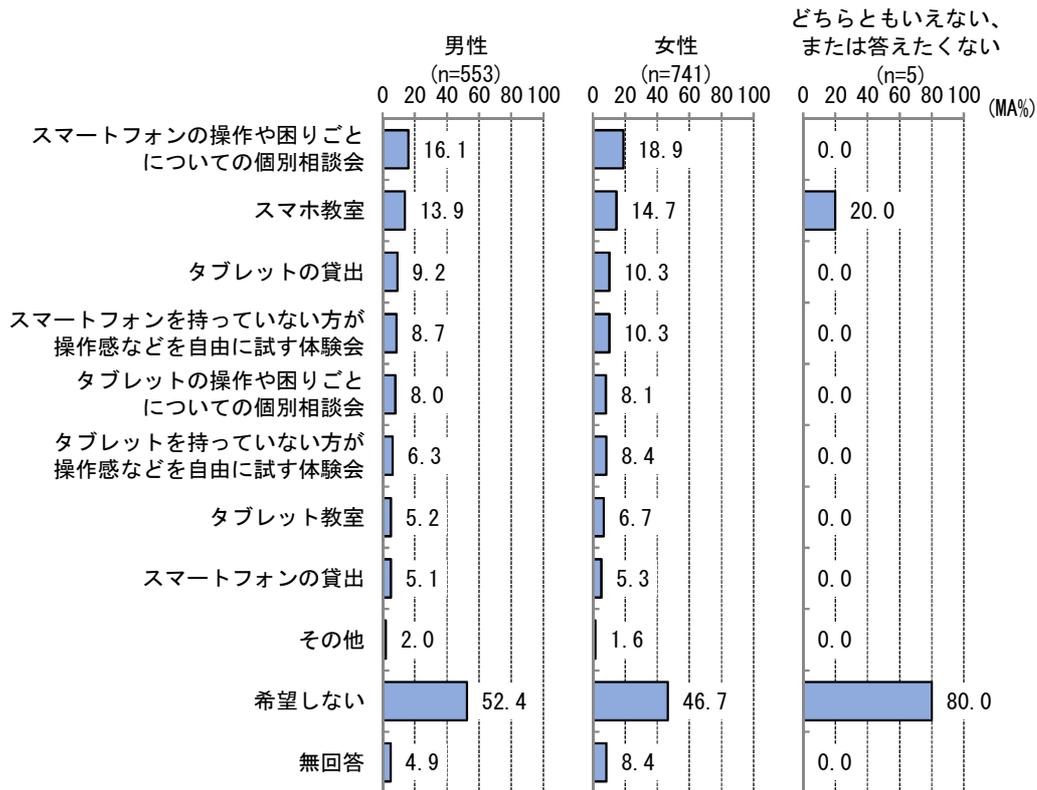
問 15 本市からのサポートについて、どのようなものであれば活用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

図 2-9 活用したい市からのサポート



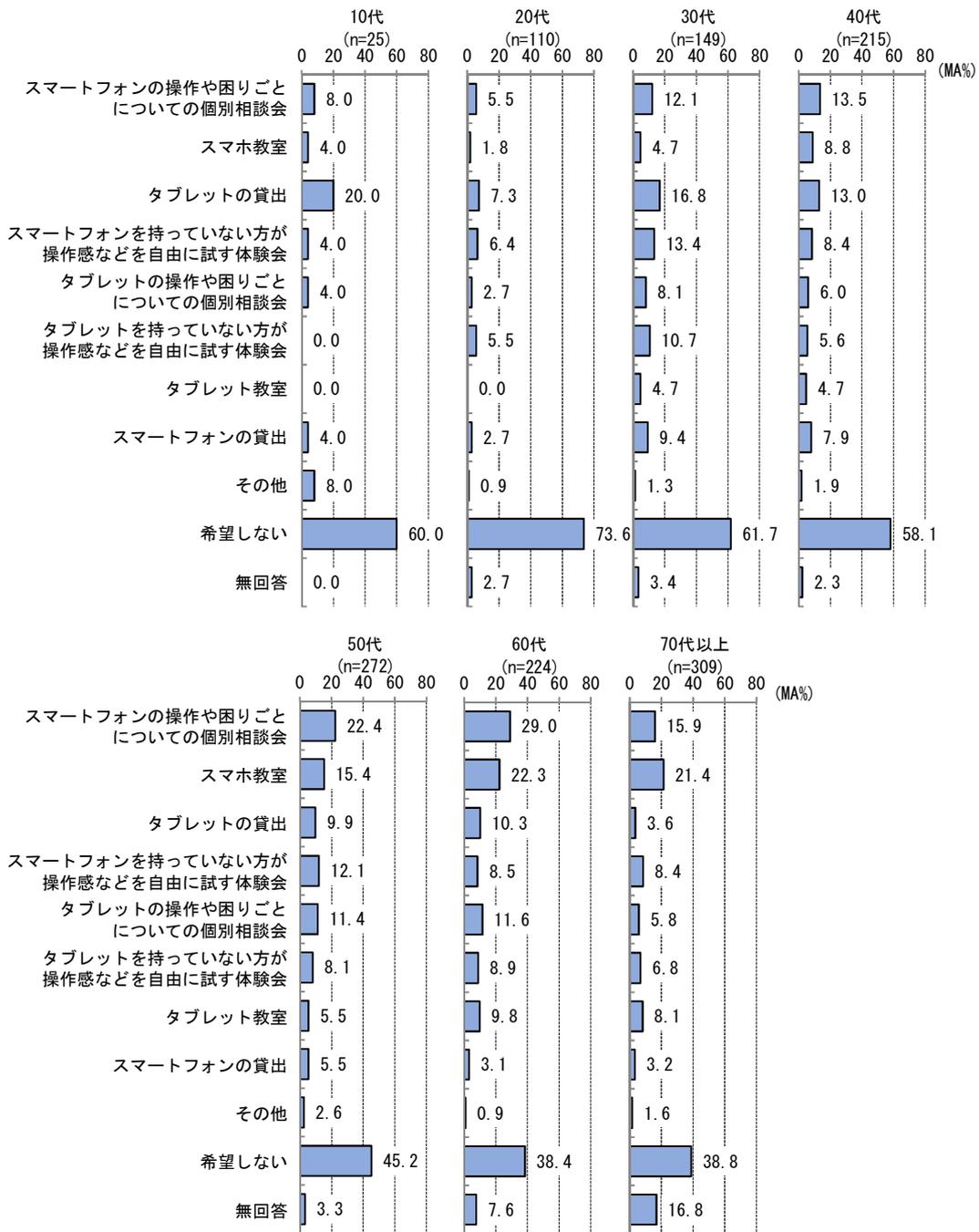
活用したい市からのサポートをたずねた。サポートの内、「スマートフォンの操作や困りごとについての個別相談会」が 17.7%と最も高く、次いで「スマホ教室」が 14.3%、「タブレットの貸出」が 9.7%となっている。(図 2-9)

図 2-10 性別 活用したい市からのサポート



性別にみると、サポートの内、「スマートフォンの操作や困りごとについての個別相談会」は男女ともに最も高く、次いで「スマホ教室」となっている。続いて、男性は「タブレットの貸出」、女性は「タブレットの貸出」と「スマートフォンを持っていない方が操作感などを自由に試す体験会」が同率となっている。(図 2-10)

図 2-11 年代別 活用したい市からのサポート

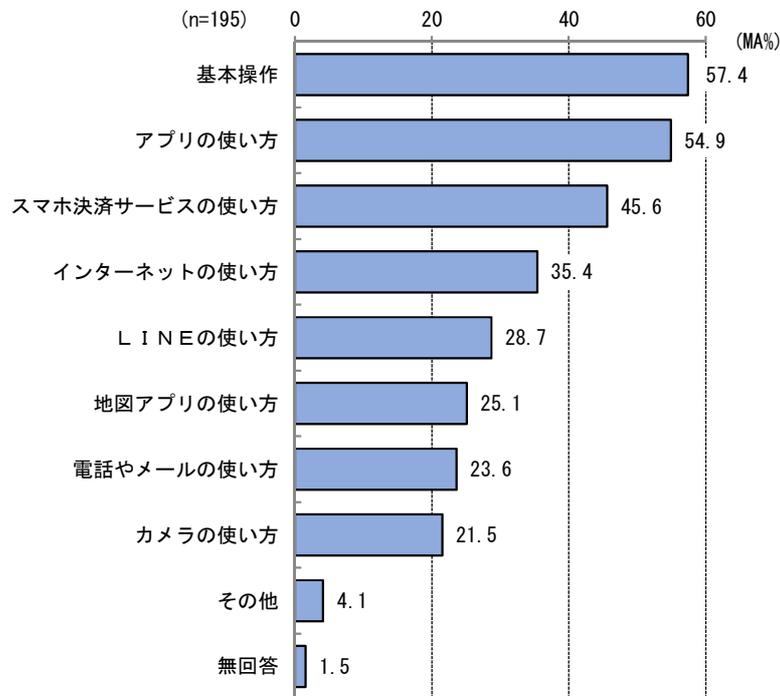


年代別にみると、サポートの内、10～30代では「タブレットの貸出」が最も高く、40代では「スマートフォンの操作や困りごとについての個別相談会」と「タブレットの貸出」がほぼ同率である。50～60代では「スマートフォンの操作や困りごとについての個別相談会」が最も高く、70代以上では「スマホ教室」が最も高くなっている。(図 2-11)

※問 15 で「1. スマホ教室」、「5. タブレット教室」と回答された方におたずねします。

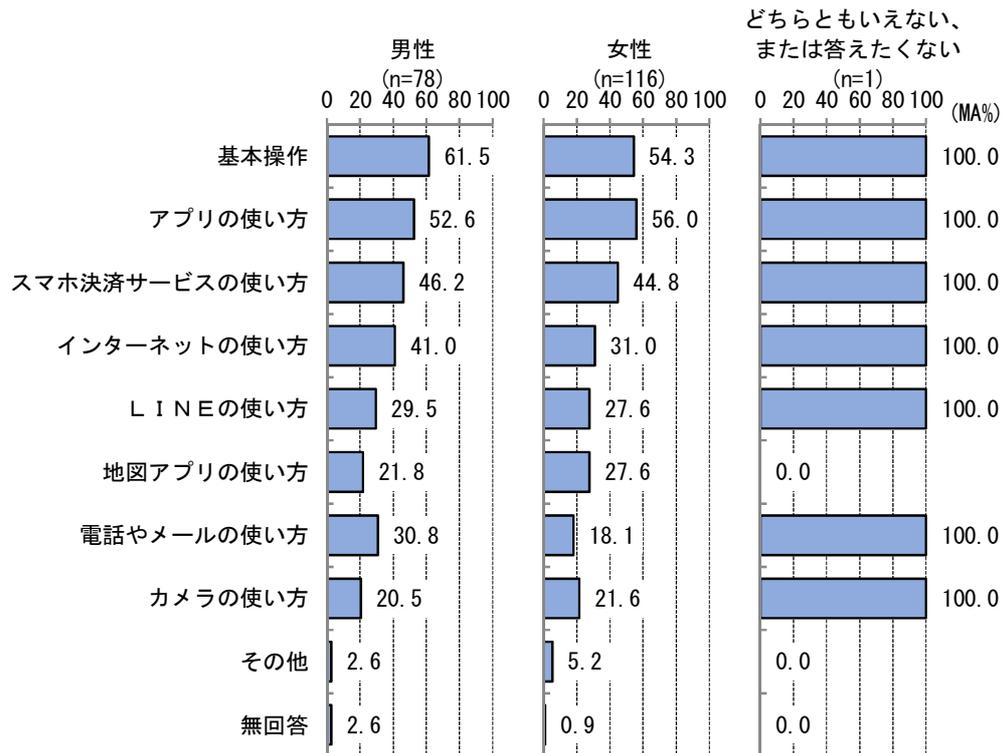
問 15-1 それほどのような内容をお考えですか。(〇はいくつでも)

図 2-12 スマホ・タブレット教室の内容



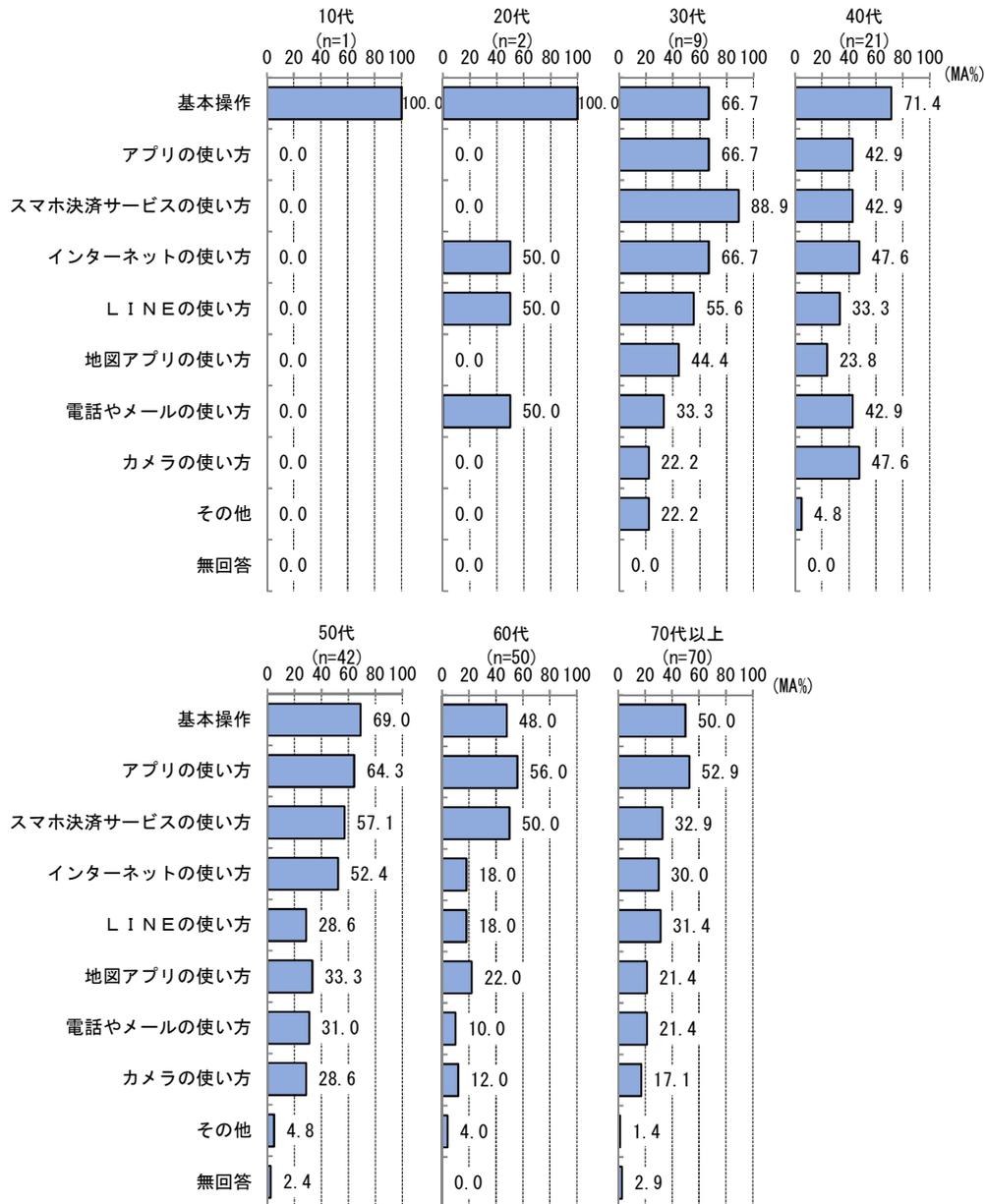
問 15 で「スマホ教室」「タブレット教室」と回答した方を対象に、その内容をたずねた。「基本操作」と「アプリの使い方」が半数を超えており高い。次いで「スマホ決済サービスの使い方」が 45.6%、「インターネットの使い方」が 35.4%となっている。(図 2-12)

図 2-13 性別 スマホ・タブレット教室の内容



性別にみると、男性は「基本操作」が61.5%で最も高く、女性の54.3%を7.2ポイント上回っている。一方女性は「アプリの使い方」が56.0%と最も高く、男性の52.6%を3.4ポイント上回っている。(図 2-13)

図 2-14 年代別 スマホ・タブレット教室の内容



年代別にみると、40～50代は「基本操作」が7割前後と最も高いが、60～70代以上は「アプリの使い方」が5割以上と最も高い。また、「インターネットの使い方」は30代が66.7%、50代が52.4%と5割以上で、他の年代に比べて高くなっている。(図 2-14)